

公共事業の三方良し

国土交通省 奥平 聖

1 . 私の提案

公共工事の当事者である
発注者と受注者が、
協力して 『工期短縮』
に取り組みましょう。

2 . 『三方良し』とは？

大岡裁きの『三方一両損』

落とし主	～	3両落して	2両戻り	- 1両
拾い主	～	3両拾って	2両もらう	- 1両
奉行	～	1両 寄付		- 1両



痛み（マイナス）の公平分配

公共事業の『三方良し』

発注者	～	発注者責任を全うする
受注者	～	喜ばれる上に儲かる
住民・利用者	～	早く完成し早く使える



みんなが幸福（プラス）

Win - win - win

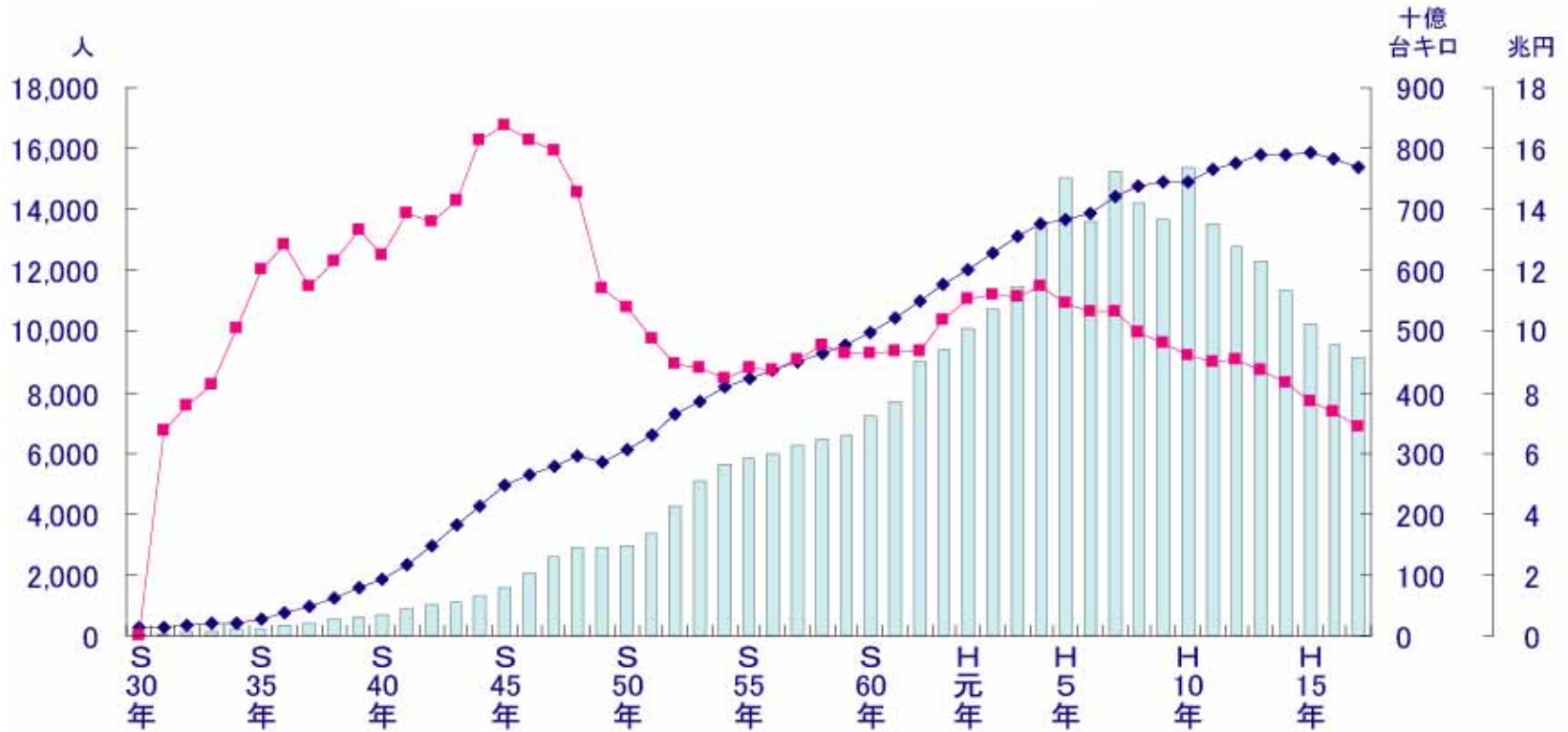
3 . 最近の公共事業批判

公共事業は不要か？

公共事業は悪か？

公共事業関係者は悪人か？

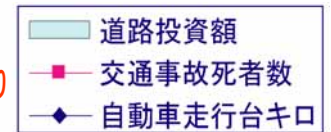
交通事故死者数の推移



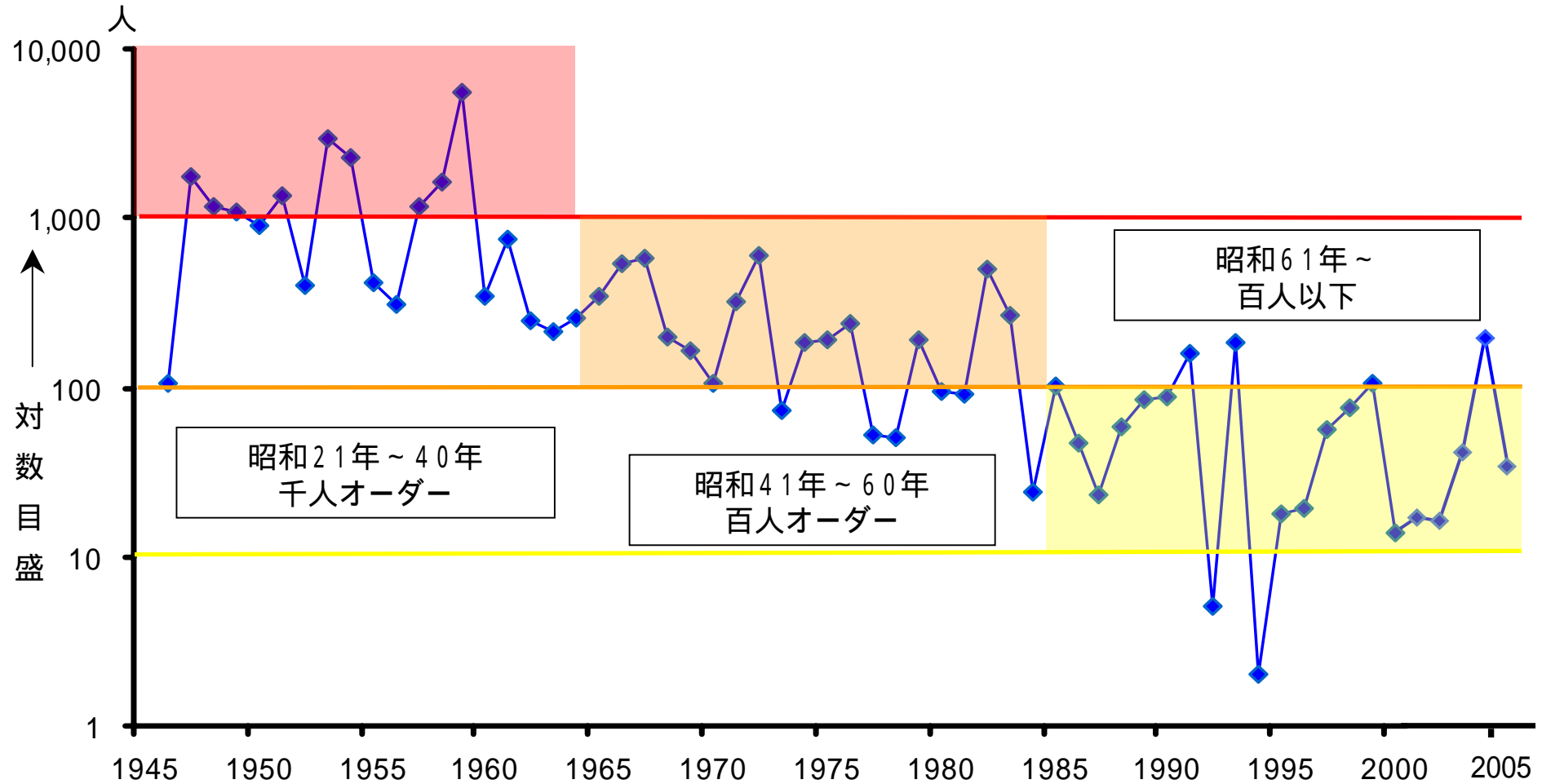
道路投資額は地方単独事業を含む

交通事故死者数は交通局交通企画課「平成18年中の交通事故死者数について」より

自動車走行台キロは「陸運統計要覧」より



風水害による死者数の推移



グラフは水害・土砂災害・火山災害の死者数の合計を示したもの。

死者数は、災害統計(河川局)(昭和21～27)及び警察庁調べ(昭和28～)等による。

(河川局河川計画課作成:平成19年4月)

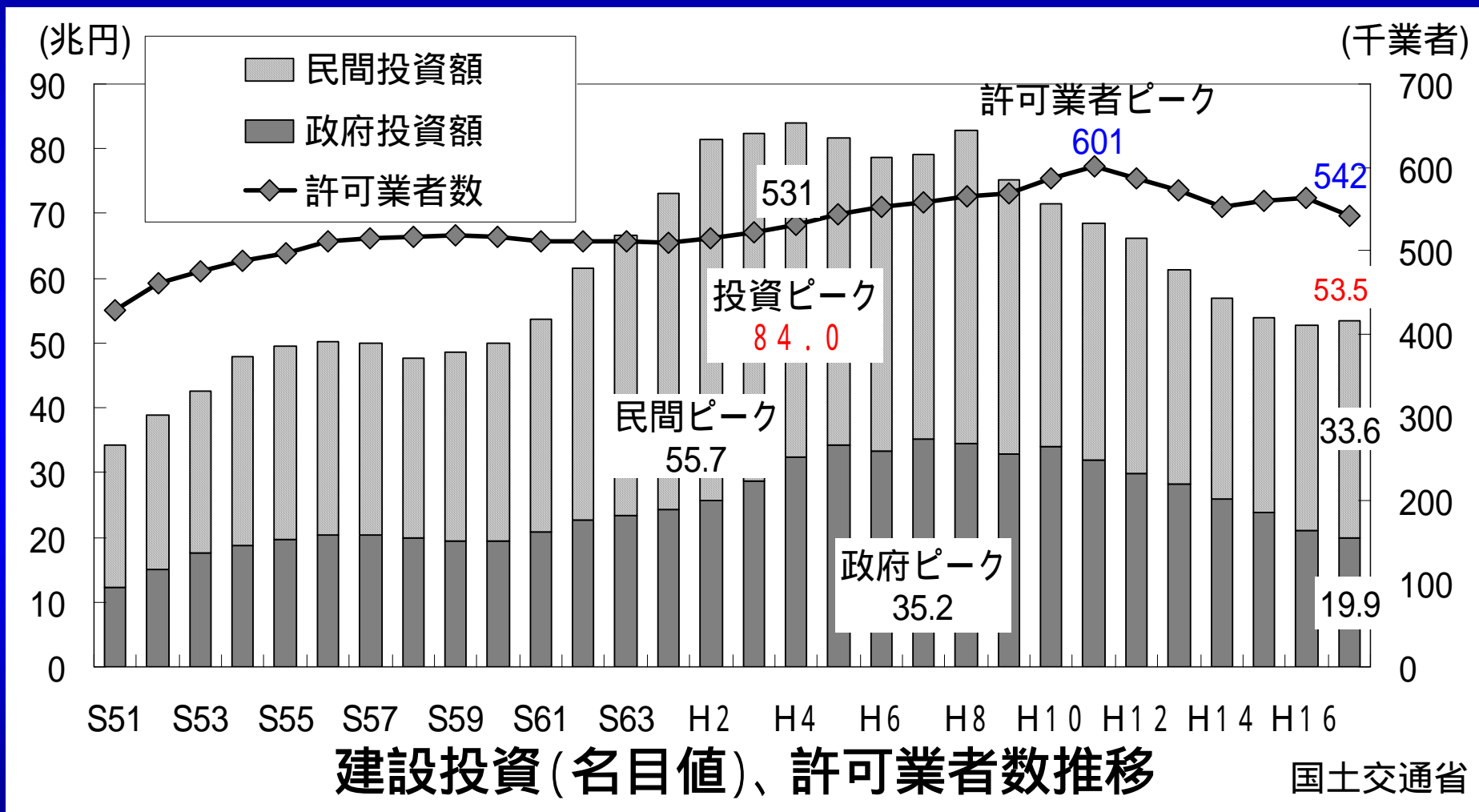
4 . 建設産業の役割

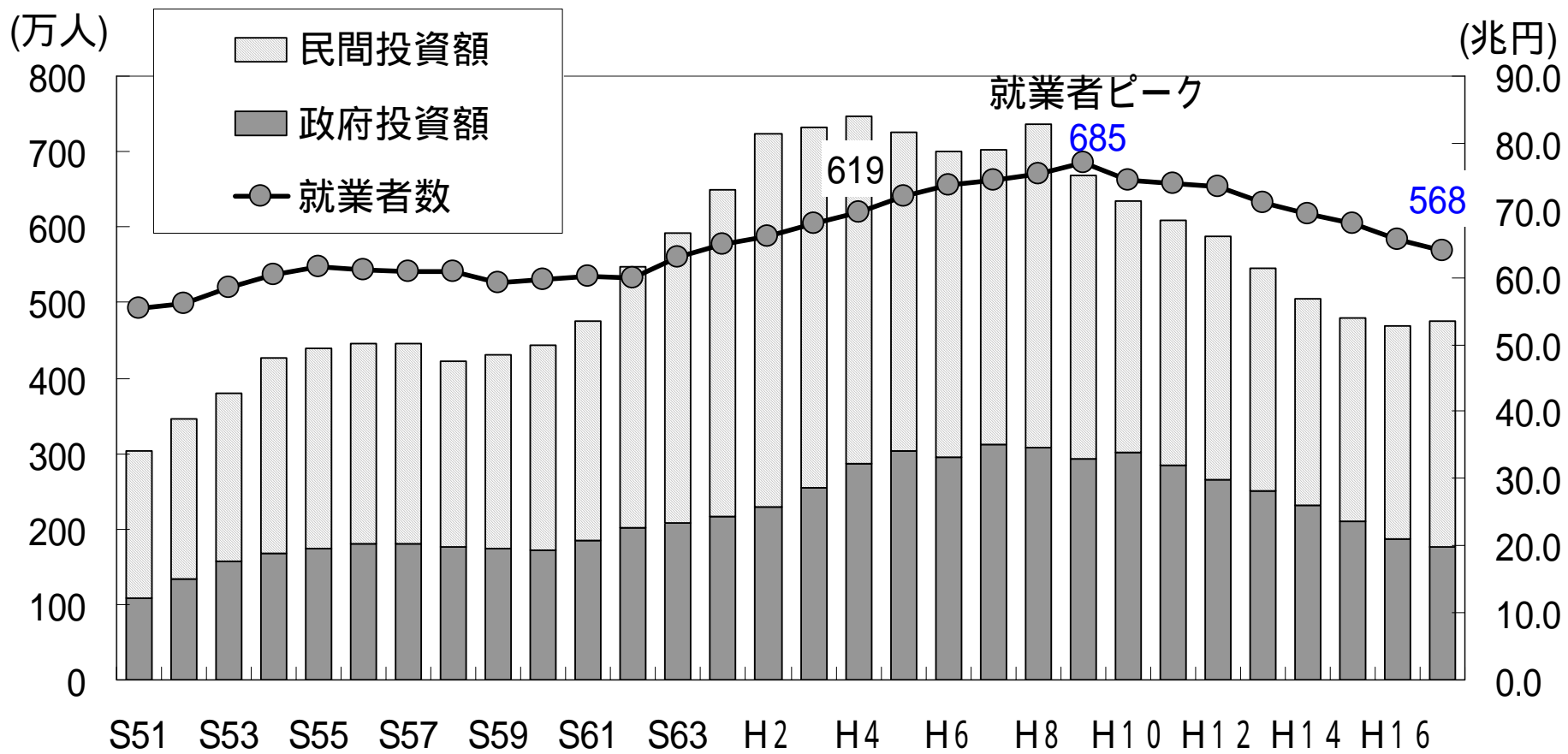
インフラの整備、管理
インフラは生活、産業の基盤
(安全安心・産業競争力を支える)

災害発生時の対応

地方における雇用機会

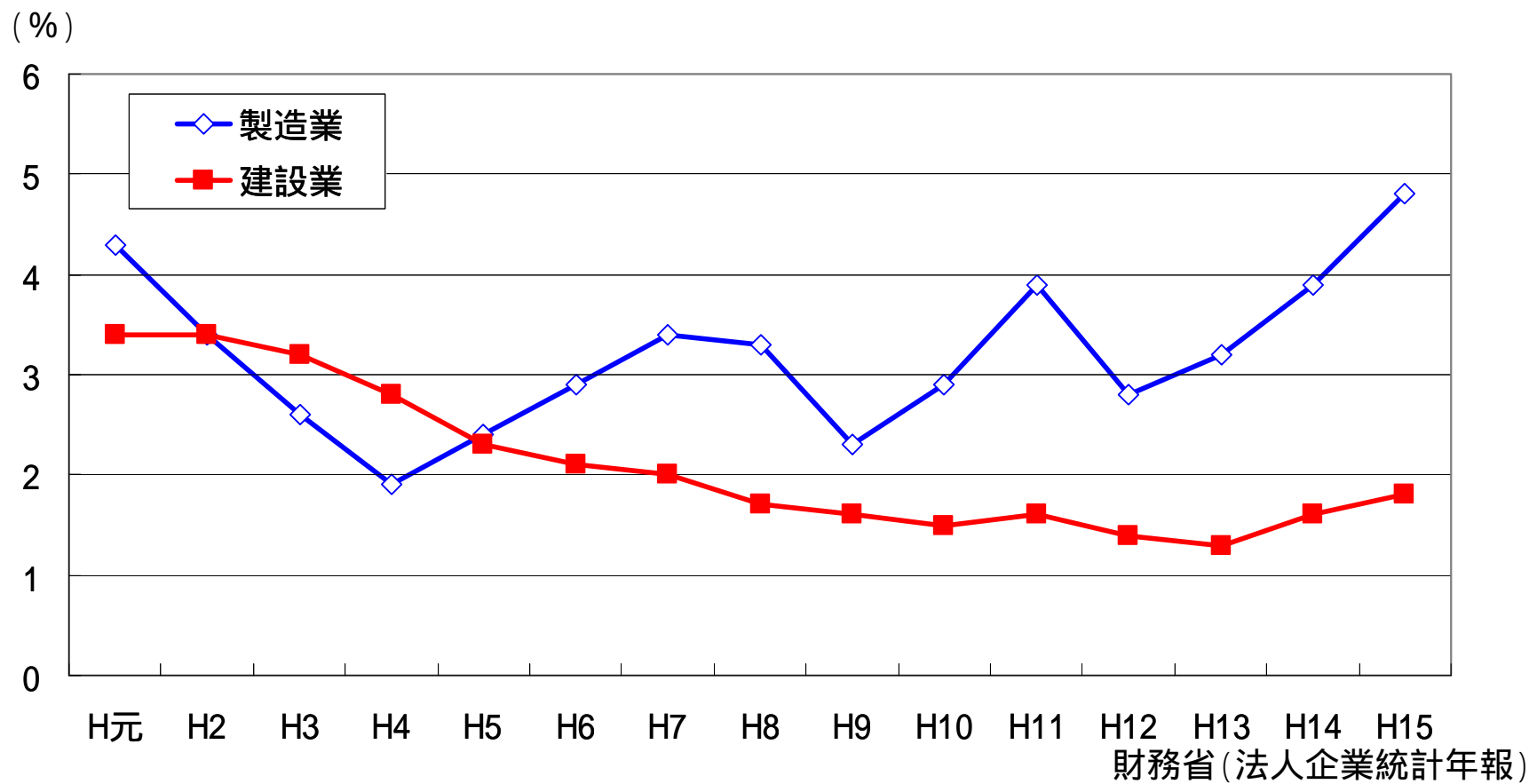
5 . 建設産業の現状





建設投資 (名目値) ・ 就業者数

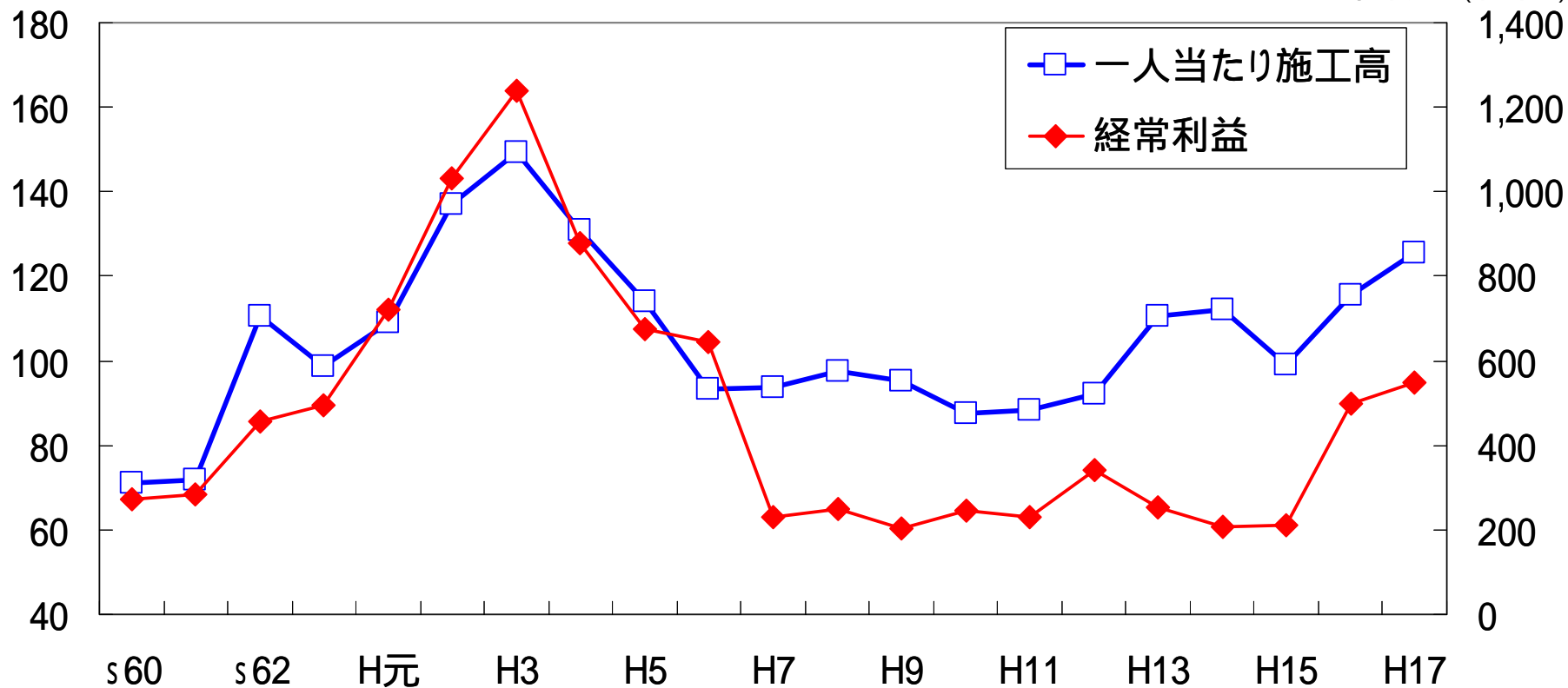
国土交通省



建設業と製造業の売上高経常利益率推移

1人あたり施工高(百万円)

経常利益(億円)



ある大手建設会社社員1人あたり施工高と経常利益額

6 . 受注者・発注者の課題

受注者：建設投資が減少する中で、雇用を確保し、産業としての使命を果たすため、スリム化ばかりに頼らない**利益率の向上**が必要である。

発注者：業務の質的、量的拡大に対して、少ない職員でサービスレベルを低下させることなく**発注者責任**を果たす必要がある。

7 . なぜ「工期短縮」か？

やる気さえあれば誰でもトライできる
結果がはっきりと出る
困る人がいない

但し、**安全の確保、品質の確保**が前提

無駄な時間をなくすのであり、必要な
時間は十分かける。

8 . 工期短縮の効果と方法

受注者 たとえば C C P M、 O D S C

専任技術者の拘束期間短縮
先手先手の工程管理
緊張感のある施工
コスト縮減

利益率の向上
コミュニケーション向上
やる気増大・人材育成

発注者 ワンデーレスポンス

施工計画の共有
先を見通した打合せ可能
内部の意志決定の迅速化

効率的なマンパワー運用
トラブルの最少化
コミュニケーション向上
人材育成

9 . C C P M、ワンデーレスポンスの特徴

明確な目標を共有すること

明確な目標がなければ、到達点 = 目標になってしまう

(「できるだけ早く」と「1日以内に」の差)

目標と成果の差が反省、教訓の材料

反省、教訓が次の発展・飛躍のバネ

ご静聴ありがとうございました。

最後までよろしくおつきあい下さい。